

社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会

理事長 森本成毅

旧年中は後援会の皆様にお世話になり有難うございました。今年もご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は聴覚障害者の支援と介護の豊かな発展を目指して実践交流集会等を実施し施設運営の改善・向上に職員一丸となって取り組むと共に、危機管理と虐待防止にむけて『虐待防止自己セルフチェックリスト』を作成し全職員の自己診断も実施しました。

また、開所間も無いほくほく以外の3施設の老朽化に対応すべく大規模改修に取り組みました。なかまの里では生活棟トイレなど、あすくの里では電話や厨房機器など、あいらぶ工房ではリタダーなどを更新・改修しました。多額の費用を要しましたが、補助金を確保すると共に法人の中期積立金を一億円余り取崩し対応しました。今後更に老朽化が進み改築・改修が喫緊の課題となって来ていますが、施設の発展を目指し遺漏の無い対処をしてまいります。

また、法人本部をあすくの里敷地内に移転し事務所経費の軽減を図ると共に本部機能を強化、法人の更なる発展を目指す拠点としました。

昨年行われた泉州地域の聴覚障害者の実態調査に基づいて「泉州聴覚障害者センター(仮)の基本計画」が作成されました。ほくほくに続き泉州地域にも素晴らしい聴覚障害者センターを皆様と力を合わせて建設し、まさに法人が大きく飛躍する年にしたいと決意しております。今年もどうぞ力強いご支援ご協力をお願い申し上げます。

法人も後援会も「わん！アツプ」あけておめでとうございます

社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会・後援会

会長 清田 廣

会員の皆様方におかれましては旧年中に色々ご協力賜り、お蔭様で後援会も会員1000人台を維持する事が出来、心より御礼申し上げます。

大きな課題であります泉州聴覚障害者センター建設も、協議を重ね具体的な取組みを進める様努力しております。2018年は大聴協としては全国ろうあ者大会6月開催の準備、2020年の大阪ろうあ会館移転の準備等大変な年になります。

法人も、世代交代の時期にきています。そして、社会福祉法人改革が打ち出された事で、法人経営の有り方を考えなければならぬ状況も生じています。それには、大阪だけで取組むには限界があり近畿の4社会福祉法人と6社団法人が「近畿合同機構」を組織して取組みを始めています。これは全国で初めての取組みです。「どうするか」という結論には至っていませんが、当面は人材の交流や、経理能力を高める研修を実施しています。全日本ろうあ連盟も注目しているところですが、この様な動きを後援会としても、どう受け止めるのか考え、近畿の社会福祉法人後援会が結集して、後援会の有り方について協議、協力していく事も考える必要があるでしょう。これはある意味後援会としてやりがいある運動になるかもしれません。2018年の新たな課題として皆様と一緒に考えていきたいと思っております。そのためには何より主体的力量である会員1500名目標達成を今年こそ実現させ、「大阪は一つ」に結集して頑張りましょう。

障害者支援施設 **なかまの里** / ケアホーム「やすらぎ」

〒590-0441 大阪府泉南郡熊取町大字久保 2329
TEL 072-453-7545 FAX 072-453-7532

9年に及ぶ施設建設運動の結果、1994年4月1日に開所。「施設の主人公はなかま(利用者)」を合言葉に「いきいきとした豊かな暮らしと社会参加」を目指しています。

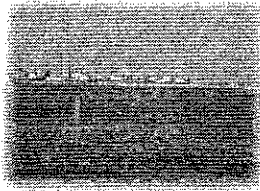
「日帰り旅行に行ってきました！
①神戸 ②淡路島」

一泊旅行に引き続き、なかまの里では二回に分けて日帰り旅行に行ってきました。一回目は十月二十七日になかま十八人で神戸に、二回目は十一月十日になかま十六人で淡路島に行きました。神戸旅行では南京町で昼食をとり、ベイクルーズに乗り、モザイクという場所で買い物をしました。



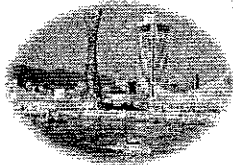
淡路島旅行ではハイウェイオアシスで昼食をとり、イングランドの丘で動物と触れ合ったり、キャンドル作りをしたりしました。十一月の旅行は、盲ろうのなかまを

中心に『ふれあい』『体験』に重きをおいたプランを盛り込んだ旅行となりました。旅のしおりも点字ボランティアさんのご協力をいただきました。また、点字だけでなく立体的な工夫を施し、『触れてわかる』しおりを作成しました。



どちらの旅行もなかまの笑顔が印象的で、心から楽しんでもらえたように感じました。普段はあまり遠くに外出することが無いなかまも多く、この旅行を通して気分転換ができたのではないかと思います。

私は二回目の淡路島旅行に参加させていただきましたが、車の中



や食事中、遊んでいる最中も終始笑顔で楽しそうななかまの姿を見ることができ、とてもうれしい気持ちになりました。また、職員やボランティアさん達がなかと一緒に楽しんでる様子も見られ、この旅行に参加できたことに感謝の念を抱きました。

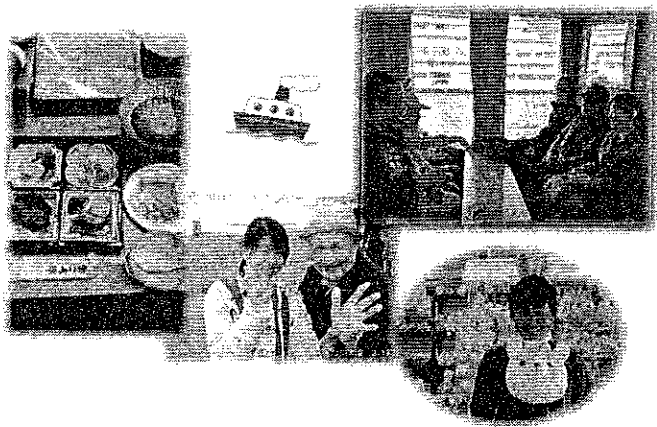


今後も旅行だけではなく、様々な行事を通して普段見ることのないようななかまの表情や、新たな一面なども引き出していけるよう、楽しい行事作りを目指していきたいと思えます。

今回、旅行に参加していただいた家族の皆様、ボランティアの皆様、ご協力本当にありがとうございます。

これからもなかまが楽しく生活が出来よう、私たち職員一同もなかまの里を盛り上げていきます！！

援助部 魚谷 真央人



＝あすくの里 特別養護老人ホーム/ショートステイ/デイサービス/ケアプランセンター＝

〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥11番
TEL 072-957-1764 FAX 072-957-1875

「あ：安心して す：健やかに く：暮らす」の願いを込めて2005年4月1日開所。入居者一人一人の願いや思いに寄り添った生活支援と介護を行っています。

あすくの里での 看取り介護

12月12日一人の女性97歳があすくの里で永眠されました。その女性はあすくの里が開所した2005年に姉妹一緒に入居いただきました。入所される前は、和裁を主にしておられ、学校に行かれておらず、手話もわからなかったが、妹とホームサインで話しておられた。最初は、手話がわからなく二人で過ごされることが多かったが、次第に他の方と打ち解けられ、穏やかに生活していただけた。食事の時間が長くなりすぎた時に途中で下膳させてもらおうとすると「ダメ、まだ食べる。」と言われたり、好物のクリームパンを提供した際は、笑顔で「食べる。食べる」ととても食欲旺盛な方でした。最後は体調を崩され、居室で過ごす時間が長くなりましたが、たくさんの甥・姪が面会に来て下さったり、体調を心配して他の階の職員も顔を見に来てくれ

る等、最後の時間までみんなにかこまれて過ごしてただけでした。亡くなられた後は、特養の入居者が居室までお見送りに来てもらい、お別れをさせていただきますました。これからも、みなさんに囲まれて最後を迎えてもらえるような支援をしていきます。

特養 畑 宏樹

もちつき大会

12月2日(土)もちつき大会が実施されました。去年度は年明けの1月に予定していましたが、インフルエンザの蔓延等で実施できなかったため、今年度は、12月に「年忘れもちつき大会」という形で実施しました。会場は1階駐車場で、快晴で日なたにしているとポカポカと暖かい陽気でした。一昨年実施した時には「寒い」と餅つきが開始されると早々に居室へ戻られた入居者さんも最後まで、一緒に「よいしょ!よいしょ!」と杵の動きに合わせて楽しんでくれました。「お餅がやわらかく

て美味しかった。」と入居者さんからも言ってもらえ、楽しいもちつき大会になりました。最後に、ボランティアさん・ご家族さんの協力により、大きな事故も無く開催できたこと、ありがとうございました。

特養 岩間 哲



「もちつき大会」



犬の年より足りるよう

気を晴らす

特養 植附 一郎

意味

犬を卑しめ軽んじるの意、又は似ているが、役に立たない語のたとえをあげれば、何もしないで、無駄に年齢を重ねているようにしても、ひさいだ気持ちは追い払うの意。

＝ あいらぶ工房 ろう重複障害者通所施設

〒552-0023 大阪府大阪市港区港晴 1-7-4
TEL 06-4395-7588 FAX 06-4395-7589

2007年4月1日、大阪市港区に開所。「ろう者のオアシスになってほしい!」という家族の言葉どおり、多くの人たちが集う場を目指しています。

パン班、

今年はどうなる?

新年あけましておめでとうございませう。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

2018年1回目となる今回は、昨年の振り返りと新年の抱負をパン班のなかまにインタビューしました。その内容をレポートしたいと思います。

昨年、パン班には新しく2名のなかまが加わり総勢12名になりました。新メンバーとベテラン・中堅のメンバーが力を合わせ日々仕事に取り組んでいます。

では、まず初めに昨年新しくパン班のメンバーになった1名の方にインタビューしてみよう。

Q. 去年の一番の思い出は?

『社会見学で他の作業所に行ったことが楽しかったです。おいしいそうなお菓子をたくさん作っていました。』

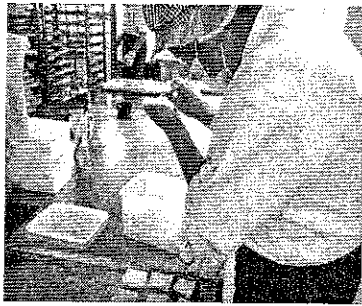
Q. 今年の目標は何ですか?

『他のなかまと仲良くして、仕事

に集中して頑張りたいです。』
続いて、2名のパン班ベテランのなかまにも聞いてみました。

『去年は夏祭りが楽しかったです。そうめんをたくさん食べておいしかったです。少し食べ過ぎました。今年は掃除とか色々な仕事を頑張りたいです。落ち着いて仕事ができるように頑張りたいです。』

『去年は休み日が多かったです。今年の頑張りたいことは、シヨップや計量の仕事を一生懸命頑張りたいです。』



真剣に作業に取り組む様子

インタビューを終えて、落ち着いて作業に集中すること

が苦手ななかまが、自分の苦手なことを理解し、克服できるよいう「落ち着いて、集中して頑張る」と目標として話してくれた事がとても嬉しく、同時にとても頼もしく感じました。又なかまがチャレンジしやすい環境作りも、更に大切と感じます。

昨年より何か一つでもなかま職員共に成長できる1年になるよう、頑張ります!

スポーツイベントに

参加してきました!!

11月22日(水)、ナイスハートふれあいのスポーツ広場に参加してきました。

公益社団法人 国際障害者年記念ナイスハート基金・JAW(自動車総連)の主催で毎年実施されているスポーツイベントです。あいらぶ工房からはなかま・職員・ボランティア合わせて32名で参加しました。

午前中はチーム対抗でロップ送りや風船バレーの試合を行い、午後からはみんなでお楽しみ体操をして1日身体を動かしてきました。

後日、撮影したビデオを観ながら、思い出をなかま各々振り返りました。

当日参加者に配られるTシャツを記念品としてもらえたので、そのTシャツを着てあいらぶ工房に通所するなかまが多くいます。服を見る度に「来年も参加したいね!」となかまの会話の話題になっています。

(支援員 津村雅穂)



楽しい思い出になりました!!

2018年はどんな年につ?

4施設の施設長、センター長そして頑張っている職員さんたちにも抱負をききました。

新しい一歩へ

なかまの里 施設長 犬飼幸子



新年あけましておめでとございます。

昨年も後援会をはじめ多くの皆様のご支援を頂き大変感謝しております。いよいよ泉州聴覚障害者センター(仮)の開所まで残り一年数ヶ月と迫り、施設内でも日中活動移行後の生活のあり方等を考える会議を実施し、施設で過ごすなかまへの支援と全体の日課を重点に意見をまとめ、次に職員体制(勤務)と配置、またセンターとの連携方法も考えていく必要があります。残りの期間内では実際に試行も行い、なかまから出される意見も参考に取組んでいきたいと思っております。

新しい一歩を踏み出すのは、決して

良い面ばかりではなく、不安な面もたくさんありますが、なかまの里の職員にもセンターで勤務する職員にも明確な支援目標を持って取り組んでもらう事で、職員個々の専門性も高められるのではないかと思います。法人内には通所の先輩施設もあるので、事前に勉強に行かせてもらい幅広く参考にしていきたいと思っております。

今年度もどうぞよろしく願います。

ろう高年齢者への

更なる専門的支援の一年に

あすくの里 施設長 吉見剛二



新年明けましておめでとございます。

今年4月の介護保険制度改定に向け、ろう高年齢協の1施設として「ろう高年齢者の特性と施設実践」について様々な調査を実施し、厚労省に加算充実を要望してきました。昨年8月には厚労省職員5名が来設。「温かい集団。あすくの里に入れて良かったとの入居者のことばが印象的。単なる手話等の『言語』を超越して、職員と入居者との人としての信頼関係による日々の積み重ねが不可欠」との喜ばしい感想。そして審議会に加算見直し(充実)が提案されました。また、地元飛鳥地域から「いきいきサロン」での体操を、あすくの里にお願いしたいとの依頼。まさに、これまで地道に蒔いた種が芽吹きはじめた一年でした。

職員採用を更に困難にする制度改悪の中、「集団、コミ保障、居場所・役割」を重視した利用者主体の支援、その人らしい暮らしの実現に向け、職員一丸となって頑張っています。今年も入居者(利用者)の笑顔を見るため、皆様のご支援をよろしく願います。

スローガンの通りに

あいらぶ工房 施設長 松崎恵美



あけましておめでとございます。

あいらぶ工房は2017年4月1日に11年目を迎えました。ここまですべて大きくくださったみなさんに御礼申し上げます。

私の施設長としての初仕事は2017年4月1日あいらぶ工房の10周年を祝う会での挨拶でした。緊張しすぎて何を言ったかはもう覚えていませんが、私以外の職員はてきぱきと動き、なかまもその場を理解しての行動に感動したのを覚えております。一人で気負わず職員もなかまも信頼してまかせよう、そう思えた日でした。また、私が話したり様子をみに行ったりするとなかまや職員は重く受け止めるようで、昨年と違う、その反応を見るたびに責任の重さをひしひしと感じています。

私が目指したいあいらぶ工房は、「手話で集う、みんなのオアシス」

です。あいらぶ工房がオープンした時のご家族の言葉だそうで、そのままあいらぶ工房のスローガンになっています。この言葉の通りに、けんかをしない、みんな仲良く、楽しいあいらぶ工房を作っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

第2のほくほく、そして

ほくほく センター長 小西 正



謹賀新年今年もよろしくお願ひ申し上げます。

ほくほくも4年目を迎えることが出来ました。昨年末に本部から借り入れていた運転資金を返済し、ほくほくも3年目で黒字経営の軌道に乗ることが出来ました。これもひとえに法人後援会の皆様方の暖かいご支援とご協力のお蔭であると深く感謝を申し上げます。

昨年は4月〜12月までの9ヶ月間で平均利用率が85%を達成する

ことが出来ました。ほくほくは就労継続支援B型事業所の安定経営を一つの重要課題としてきましたが、3年目でひとまずクリアすることができました。

次の課題として、生活介護にも対応できる「第2のほくほく」と障害者グループホームの立ち上げを次の中期計画に盛り込んで行けるか挑戦したいと思ひます。ろうあ高齢者の利用拡大と共にろう重複障害者の利用拡大を推進して参りたいと念じています。

今年も北摂地域にろうあ者が集う「ろうあ者の地域」を守り発展させて行きたいので、今後ともご支援ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

あすくの里特養部3東 西村あずさ

あけましておめでとうございませう。

特養部介護職員の西村あずさです。あすくの里で働き始めて、あっという間に2年が過ぎようとしています。業務や手話など、覚えることも多く、周りの職員や入居者様に助

けられてばかりです。大変なこともありませんが、入居者様の笑顔に日々、元気をもらっています。

そんな私の新年の目標は、小さな気付きを大切にすることです。体調の変化や気持ち、願ひ、癖など小さなことにも気が付けるように気を配り、一人ひとりの思いに寄り添った支援に繋げていきたいです。また、これとは別に、入職してから持ち続けている目標があります。それは、信頼される職員になることです。あすくの里という名前に込められた意味の通り、入居者様が「安心して健やかに暮らす」ことができるように、これからも頑張りたいと思ひます。

今年もよろしくお願ひ致します。

ほくほく運転手 中尾正博

昨年6月21日より運転手として入職しました中尾正博です。遠方から来られる利用者さんの負担を軽減するために、高槻・茨木方面の送迎を担当しています。朝夕の送り迎えを頑張つてやっています。60歳で

定年退職後、小西センター長に乞われて運転手として、月曜日から金曜日まで毎日送迎を担当しています。利用者さんが毎日お元気でほくほくに通つてくれることで、僕も元気をもらっています。送迎業務の無い昼間はほくほくから歩いて5分の自宅に帰つて掃除などの家事をやっています。これからは少しずつ現場の仕事も覚えてお手伝いをして行きたいと思ひます。運転手の仕事を始めてからは同じような送迎用の車を意識して見るようになり、必要とされるとやりがいを感じています。また、高槻・茨木方面の今まで知らなかった道順などを見つけて送迎時間の短縮を考えるのも楽しみのひとつです。趣味は和太鼓とオートバイのドライブで、吹田の和太鼓「和龍耳」の代表を務めています。今後ともよろしくお願ひいたします。



『なかまの里新入職員からひと言』

なかまの里の若手職員から、新年を迎えこれからの意気込みを語っていただきました!

●昨年8月に入社し、はじめはなかまの名前を覚えることから始まり、1日の業務をこなすだけで必死でした。今年は、昨年以上になかまとコミュニケーションを取ることにより重きをおき、深く関わりをもっていきたいと考えています。

●『なかまの豊かな発達』を心に置いて、なかまが楽しみを見つければ、充実した日々が送れるような支援に努めていきたいです。そして、少しずつでもそれぞれが自分なりに発達していけるよう、一人ひとりに合った関わり、環境づくりを工夫していきたいです。

●聴覚が鋭い犬(戌)のように、利用者言うことに聞き耳を立てて、自分を成長させていきます。そして、なかまの心の声が聞こえる職員になりたいです。

●先日、通勤途中信号待ちをしていたとき、雑草の中に花を見つけました。普段、通り過ぎてしまえば気づかなかつた花。ほんの少し立ち止ま

ることにより見えた花。ほんの少し立ち止まることにより、なかまのちよつとした一面(希望など)が見えると思います。そんな一面をきちんと見ることのできる職員を目指し

八尾市街頭募金の

「がんばった!」

11月11日(土)・12日(日)連続二日間、午後1時から3時半まで近鉄八尾駅付近で街頭募金をしました。募金額は6万8070円です。6月に続き二日間連続募金をしたので「すごい!どうして?」と原稿依頼がありました。

4月の八尾市身体障がい者福祉会の聴言部月例会で会員に「募金を土日どちらにしますか?」と質問したが決まらず僕の案で土日の募金を言いました。会員は「えーっ」・・・僕は盲ろう者団体のアルバイトで三日間連続募金の経験もありました。近鉄八尾駅付近はアリオ八尾の店が人気有り買い物客の多い通り

ます。 これからも、皆さまのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

道で募金をやりました。聴言部のろうあ者だけでなく八尾市手話サークル3団体や手話通訳者、手話教室の生徒たちにお願ひして参加してもらいました。一般の人が「何の募金ですか?」と問いかけもあり健聴者が通訳して理解して募金してくれました。聴言部の中には大聴協に入っていない人もいるが関係なく、募金活動に参加してくれました。感謝!

(八尾市聴言部部长 小倉一郎)

あいらぶ工房見学と

銭湯ツアー

2月17日(土)法人後援会「お楽しみ企画」予定しています。昨年度3月「あすくの里&河内ワイン工場」に続く第二弾!下見に行ってきました!

【あいらぶ工房見学】

10時30分〜14時30分

なかまの作業を見学、昼食後なかまと交流を企画。ポッチャや他にもお楽しみの内容を考えています。開所当時のDVDを見る時間があります。なつかしさと、あいらぶが大事な場所になっていることが嬉しくなります。

【銭湯ツアーテルメの湯 龍宮】

15時〜16時

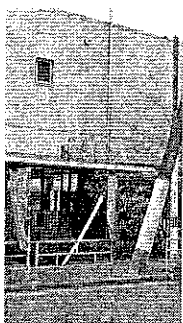
レトロな銭湯で大きな浴槽がたくさん。露天風呂、スチーム風呂もおすすりです。近所のご婦人と楽しい話の花が咲きます。一緒に銭湯であたたまりましょう。

【湯上がり飲み会】

近大マグロのある居酒屋で軽く乾杯して解散の予定です。

銭湯も、商店街の人たちも「あいらぶ工房」を理解してくれています。「寄付したで」と笑顔です。詳細はピラを見てください。

(教宣部・杉本)



法人後援会は会員一人ひとりに支えられています

2017年度会員12月4日現在

ブロック	個人(ろう)	個人(健聴)	団体
大阪市	93	196	50
北摂	46	112	11
京阪	40	59	19
河内	35	134	22
泉州	69	154	28
その他	5	52	2
小計	288	707	132
合計	995		1,127

●今年度の会員申込、お忘れではないですか？例年、後援会の新会員は200名くらいおられます。しかし、残念ながら継続漏れの方も200名くらいおられて、会員数1000人からなかなか伸びません。「うっかり今年度の会員申込忘れていた！」という人には継続を。また、身近な方に、後援会の必要性をお話して新会員を募ってください。今年も一緒に、なかまを、法人を支援していきましょう！

2017年度後援会会員手続きを下さった方

池宮城 弘 | 谷川 敏文 | 横山 次朗 | 岡本 昇治 | 里井 厚子 | 鈴木 幸雄

会員入会手続き方法

年会費(4月～翌年3月)

①一般個人(1口)3000円、②特別個人(1口)20000円

③一般団体(1口)3000円、④特別団体(1口)50000円

入会(継続)は法人事務所、大阪ろうあ会館、または各施設で受付ています。

郵便振替でもOKです。※ご氏名住所の記入をお忘れなく！

(番号)00910-9-279962

(名義)社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会・後援会

郵便局に置いてある郵便振替払込書(青色)をご利用ください。

※振込手数料はご負担願います。

大聴協にもご協力ください

公益社団法人大阪聴力障害者協会(大聴協)は社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会を支えながら福祉活動の両輪として活動しています。しかし、大聴協の会員数が減少していて、財政的に厳しい状態です。ぜひ賛助会員となって大聴協にご協力ください。

賛助会員会費は8000円です。ニュース「ろうあ大阪」が届きます。会員証を映画館に見せたら割引があります。ご協力よろしくお願いたします。

職員募集中！ 詳細は法人ホームページをご覧ください

ご寄付

11月1日～11月30日の間に次の方々よりご寄付を頂きました。どうもありがとうございます。

- 茨木市聴力障害者協会・茨木市手話サークルのばらサマー交流会様、茨木市聴力障害者協会様、茨木市手話サークルのばら様、西区身体障害者団体協議会様、大阪府立中央聴覚支援学校PTA文化祭募金様、レッドベレーズ様
- 【なかまの里・物品寄贈】
西川修一郎様(お米、柿)
- 【あすくの里・物品寄贈】
久野博秀様(りんご)
- 【ほくほく・物品寄贈】
角田千賀子様(菓子)、平居とし子様(手芸材料)、澤田昭子様(事務用スポンジ)、賢美代子氏福祉基金様(アルミ製車椅子)

2018 1月 Jan.

法人後援会	
15月	幹事会
23火	運営委員会&新春交流会
26金	法人だより2月号発送作業
27土	法人だより2月号発送作業

あいらぶ工房	
5金	年始の会(ベーカリーカフェ休業日)
6土	開所日(ベーカリーカフェ営業日)
10水	労働相談
12金	なかま給料日
13土	開所日(ベーカリーカフェ営業日) ひまわり班新年会、ボランティア懇談会
15月	健康チェック
20土	開所日(ベーカリーカフェ営業日)
22月	あいらぶフレンズ会役員会
26金	誕生日会
備考	年末年始休み(12/30-1/4)

ほくほく	
4木	仕事始め、吹田市互礼会
10水	新年会
11木	イオン吹田店イエローシートキャンペーン
15月	工賃支払日
19金	ほくほくで施設長・事務長会議を初開催
23火	餅つき大会
26金	職員会議(午前中のみ開所)

あすくの里	
1月	デイ休み(~3日)
8月	喫茶店
11木	マッサージ
12金	ワゴン販売
15月	喫茶店
16火	散髪
19金	書道クラブ
22月	喫茶店
25木	マッサージ、お菓子販売
備考	毎月10日広報紙発行(デイ・ショート)

法人事務所	
3水	年末・年始休業日(12/29~)
8月	事務所休業日(成人の日)
備考	土曜日・日曜日・祝日は事務所休業日

なかまの里	
8月	買い物、GHなかま会議
10水	ふれあいの会全体会、ひまわりサークル
12金	ふれあいの会役員会
13土	シーツ交換
16火	なかま誕生日会
17水	給食委員会、いちようサークル
18木	たまねぎ缶回収
19金	夕食会
20土	いずみ缶回収
21日	ガルボ
22月	やじろべえ缶回収
24水	工賃日ガルボ
26金	ふれあいの会役員会
27土	シーツ交換、いちようサークルお掃除Vo

発送作業いつも
ありがとうございます

法人事務所移転に伴い「法人だより」発送作業は谷町福祉センターで行っています。ぜひご都合の良い時間だけでもお手伝い頂くと嬉しいです。

2月号発送作業日は

1月26日(金) 18:00~21:00

1月27日(土) 10:00~終了まで

※金曜日は16:00頃から作業があります。

(編集部)

12月号発送作業をお手伝い頂いた方々
(敬称略)

12月1日(土)

竹本殖保、宇高啓子、大力憲人、杉田範子
安川清子、森本碩子、中岡正人、菱田伊津美

(宛名準備) 牧和子